

令和3年度 島原市 新型コロナウイルス感染症対応事業 実施状況及び効果検証シート(R2年度繰越)

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	事業費					補助対象外経費 (A-B)	事業経費内訳	効果・検証
							総事業費 (A)	B 補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	F その他			
25	単	旧堀部邸ワーケーション活用事業	シティプロモーション課	①市所有の「旧堀部邸」をアフターコロナのテレワーク、ワーケーション等の新しい働き方に対応する中長期滞在型施設にリノベーションし、県内外からの関係人口の増加を図るとともに、島原の良さを体感してもらい移住・定住を促す。 ②旧堀部邸(古民家)のリノベーションにかかる整備費 ③建物等整備費 75,000,000円 ○建物工事費一式 70,000,000円 ・屋根一部改修、耐震改修、内外装、合併浄化槽設置 ・駐車場整備、温泉給湯管布設 ○設計監理委託料 5,000,000円 ④旧堀部邸(島原市万町)	R2.9	R4.3	71,684,800	71,684,800	-	71,684,324	476	-	【委託料】5,324,000円 ・旧堀部邸ワーケーション活用事業にかかる改修工事設計業務委託料 ・旧堀部邸改修工事設計意図伝達業務委託料 【工事請負費】66,360,800円 ・旧堀部邸改修工事	「旧堀部邸」をアフターコロナのテレワーク、ワーケーション等の新しい働き方に対応する中長期滞在型施設にリノベーションし、県内外からの関係人口の増加を図る拠点施設とすべく改修工事を行った。改修後の運営については民間の事業所と契約を締結し、運営に関して民間のノウハウを最大限活用できるように工夫した。施設のオープンは令和5年3月下旬予定としている。
28	単	新生児子育て応援臨時給付金事業	こども課	①新型コロナウイルスの感染症の影響を受けながら出産を迎えた世帯を応援するため、市独自の子育て支援策として、国の特別定額給付金の基準日(令和2年4月27日)の翌日以降に生まれた子ども(新生児)の母又は父に対して、健やかな成長を応援するため、臨時の給付金(一時金)を支給する。 ②臨時の給付金及びその事務に係る経費を交付対象とする。 ③[対象となる子ども] 誕生日が、令和2年4月28日から令和3年4月1日までであって、出生後初めての住民登録が島原市である子ども(新生児)。 対象となる子ども(新生児)一人につき100千円 ・給付金 100千円×300人=30,000千円 ・事務費(消耗品費、通信運搬費)101千円 (計) 30,101千円 ④事業の対象 [支給対象者](次のすべてを満たす方) ①対象となる子ども(新生児)の母か父である。 ②対象となる子ども(新生児)の出生日時点から申請日まで引き続き島原市に住民登録がある。 ③対象となる子ども(新生児)と同一の世帯である。	R2.9	R3.5	27,724,421	27,721,421	-	13,870,957	13,850,464	-	【R2】 役務費 24,421円 郵便料 (20,631円) 電話料 (3,790円) 負担金補助及び交付金 27,100,000円 国県費等を伴う補助金 271名×10万円 【R3(R2からの繰越事業)】 負担金補助及び交付金 600,000円 国県費等を伴う補助金 6名×10万円	給付金の支給により、子育て世帯への経済的負担の軽減が図られた。
38	単	観光施設感染症防止対策事業	しまばら観光課	①新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、観光施設等における来場者の体温測定器の設置や空調設備の更新、換気対策を充実させ、利用者の安全・安心を確保する。 ②③ 事業費:18,716千円 ○検温器(設置型) 6台(6施設)×@458,000=2,748,000円 ○検温器(携帯型)12台(6施設)×@10,000=120,000円 ○サーキュレータ 24台(6施設)×@10,000=240,000円 ○パーテーション 10台(1施設)×@10,000=100,000円 ○空調設備の更新(2施設) ①島原城休憩所 ・修繕料 3,380,000円 ②島原城観光復興記念館 ・設計業務委託料 1,313,000円 ・工事請負費 9,625,000円 ○空調設備の設置 ①しまばら湧水館 ・備品購入費(3台) 750,000円 ・修繕料(電気設備) 440,000円 ④市内の観光施設等	R2.9	R3.5	16,896,711	16,896,711	-	16,896,711	-	-	○令和2年度 11,616,711円 【需用費 消耗品費】 421,681円 【需用費 修繕料】 2,766,500円 【委託料 建設事業委託】 864,600円 【工事請負費】 3,520,000円 【備品購入費 機械器具費】 4,043,930円 ○令和3年度(繰越) 5,280,000円 【工事請負費】 5,280,000円	各観光施設等に施設検温器(設置型)6台、検温器(携帯型)13台、サーキュレータ24台、パーテーション、空調設備の更新、空調設備の設置をすることで新型コロナウイルス感染症の拡大防止につながるのと同時に、利用者の安全・安心を確保した。

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	事業費					補助対象外経費(A-B)	事業経費内訳	効果・検証
							総事業費(A)	B 補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	F その他			
46	単	公園公衆トイレ整備事業	都市整備課	①島原半島ユネスコ世界ジオパークの地域資源や歩きながら地域の自然や景観、食を楽しむ九州オルレを活用した滞在型・周遊型の観光を推進する中で、「ウィズコロナ」「アフターコロナ」を見据えた観光施設整備を進めるため、不特定多数の観光客が新型コロナウイルスの感染から安心して利用できる非接触型の水栓や飛散防止用の蓋付便座を備えた多機能型トイレをジオパーク(火山)をテーマとした九州オルレコースの主要ヒュースポットである秩父が浦公園に整備する。 ②事業費 29,000,000円 ・工事費 27,200,000円 ・設計業務委託費 1,800,000円 ③秩父が浦公園トイレ新築工事(木造1F)1式 <工事費>27,200,000円 ・既設公衆トイレ解体 1式 ・多目的便所(大便器1、オストメイト1、ペーパーヘッド、洗面器ほか)① 男子トイレ(大便器1、小便器1、洗面器1)② 女子トイレ(大便器2、洗面器1)③ <設計業務委託費> 1,800,000円 ・設計業務委託 1式 ④秩父が浦公園	R2.10	R3.7	27,938,900	27,938,900	-	27,938,900	-	-	秩父が浦公園トイレ新築工事 <工事費>26,354,000円 ・既設公衆トイレ解体 1式 ・多目的便所(木造1F)1式(大便器1、オストメイト1、ペーパーヘッド、洗面器ほか) 男子トイレ(大便器1、小便器1、洗面器1) 女子トイレ(大便器2、洗面器1) 秩父が浦公園トイレ新築工事設計業務委託 <設計業務委託費> 1,584,000円 ・設計業務委託 1式	コロナ対策後、オルレコース中にある当該トイレの利用客が増えた。
59	補	公立学校情報機器整備費補助金	教育総務課	①GIGAスクール構想に基づき、整備されたネットワークや機器等の授業等への活用を円滑に行うため、相談支援業務等を行うGIGAスクールサポーターを配置する。 ②サポーター配置に要する委託料 ③150万円 サポーター2名を配置する委託経費一式300万円のうち、1/2国庫補助を除く150万円 ④市内小学校10校、中学校5校	R3.4	R3.7	2,860,000	2,860,000	1,430,000	1,430,000	-	-	【委託料】2,860,000円	GIGAスクール構想に基づき、整備されたネットワークや機器等の授業等への活用について、相談支援業務等を行うGIGAスクールサポーターを配置できたことで、自宅で学習等ができる環境をスムーズに構築することができた。
60	単	事業継続緊急支援金事業	商工振興課	①新型コロナウイルス感染症の影響の長期化が懸念される中、長崎県の要請に基づく飲食店等の時短営業や不要不急の外出・移動の自粛等により影響を受け、売上が減少した市内事業者への支援を県と共同で実施。 ②③ ・給付要件 原則、令和3年1月または2月の売上が、対前年比20%以上減少していること ・支給額 減収率50%以上:20万円 減収率20%~50%未満:10万円 ※対象事業所数 1,500事業所(総定数) ④中小企業者、農漁業者等	R3.3	R3.5	131,215,851	80,187,047	-	80,187,047	-	51,028,804	会計年度任用職員報酬 53,880円 時間外勤務手当 600,115円 費用弁償 855円 消耗品費 92,449円 通信運搬費 114,032円 広告料 330,000円 手数料 124,520円 国県費等を伴う補助金 129,900,000円	支給該当者796件中、アンケート回答者は422件(回答率53%)。アンケートでは、給付金について「助かった」、「ありがたい」との声が多く、経営悪化した事業者への支援として一定の効果があった。

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	事業費					補助対象外経費（A-B）	事業経費内訳	効果・検証
							総事業費（A）	B 補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	F その他			
61	補	学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	（感染症対策等の学校教育活動継続支援事業） ①各学校が感染拡大のリスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため、学校設置者が実施する取組にかかる経費を補助することにより、学校における感染症対策、教職員の研修支援、児童生徒の学びを保障する体制の整備を促進する。 ②学校における感染症対策の強化に必要な経費、教職員の資質向上のための研修等に必要な経費、子供たちの学習保障支援に必要な経費。 ③大規模校 3校 × 120万円 = 360万円 中規模校 12校 × 80万円 = 960万円 計 1,320万円 ④市内小中学校	R3.3	R4.3	13,194,018	13,194,018	6,597,000	6,597,018	-	-	需用費(245件)7,127,680円 備品購入費(34件)5,293,668円 負担金補助及び交付金(1件)10,000円 使用料及び賃借料(10件)762,670円	○学校における感染症対策の取組 非接触型温度計、アルコール消毒液、サーキュレーター等を学校の実情に合わせ、校長判断で迅速に購入することができ、学校での教職員、児童生徒の感染防止につながった。